



# 2022年3月期 第2四半期 決算説明資料

証券コード:6230

SANEI 株式会社

2021年10月25日

## 2022年3月期 第2四半期 トピックス

- コロナ禍は継続しているが、経済活動は回復しつつある。
- 生活関連用品の巣ごもり消費は落ち着いてきた。
- 新設住宅着工戸数は2021年3月より6ヶ月連続で前年を上回っており、回復基調が続いている。
- 素材価格（銅相場等）は依然として高止まりの状態が続いている。

前期1Q

前期2Q

前期3Q

前期4Q

当期1Q

当期2Q

4

5

6

7

8

9

10

11

12

1

2

3

4

5

6

7

8

9

コロナ第1波

コロナ第2波

コロナ第3波

コロナ第4波

コロナ第5波

4上～5下  
緊急事態宣言の発令

◆在宅勤務者の増加

◆GoToキャンペーン開始

1上～3中  
緊急事態宣言の発令

4中～6  
緊急事態宣言の発令

7～9  
緊急事態宣言の発令

◆住宅展示場、ショールームの閉鎖 ◆非接触型水栓への注目高まる

◆新設住宅着工戸数は回復基調が続いている

◆巣ごもり消費によるDIY需要増

◆銅相場が上昇基調となる

◆巣ごもり消費が落ち着いてきた

◆学校・公共施設での水栓のレバー交換需要増

◆寒波（凍結）により配管部材の需要増

◆銅価格は引き続き高騰

## 経済・業界の概況

- ◆コロナ第5波による急速な感染拡大はあったが、業界内の経済活動は回復しつつある
- ◆新設住宅着工戸数は回復基調が続いている
- ◆非接触型水栓の需要は継続している

## 売上

- ◆非接触型水栓の需要は引き続き拡大
- ◆住宅着工戸数の回復により現場需要が増加
- ◆経済活動の回復により、展示会の開催が増加
- ◆巣ごもり消費は落ち着いてきたが、高機能商材などの新製品が好調
- ◆メーカールートを受注が増加

## 利益

- ◆銅相場等、素材価格が高騰しており、材料費が上昇
- ◆非接触型など高付加価値製品の販売が好調
- ◆生産性向上による原価低減

## 2 損益の概要

銅相場の高騰など材料価格の上昇が利益を圧迫したが、非接触型水栓などの高付加価値製品の拡販、新設住宅着工戸数の回復による売上拡大や生産性向上により増収増益を達成

(単位：百万円)

	2021年3月期		2022年3月期			
	2Q累計	構成比	2Q累計	構成比	増減	前年比
売上高	10,359	100.0%	11,058	100.0%	+699	+6.7%
売上総利益	3,355	32.3%	3,491	31.4%	+135	+4.0%
営業利益	649	6.3%	692	6.3%	+42	+6.6%
経常利益	656	6.3%	705	6.4%	+48	+7.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	457	4.4%	464	4.2%	+6	+1.5%

1株当たり四半期純利益 233円41銭

202円73銭

期中平均株式数 1,960,000株

2,289,000株

# 四半期業績の推移

(単位：百万円)

<b>前期</b> 2021年3月期	年間	前期1Q	前期2Q	前期3Q	前期4Q
売上高	22,182	5,067	5,291	5,683	6,140
(年間売上構成比)	100%	22.8%	23.9%	25.6%	27.7%
累計	22,182	5,067	10,359	16,042	22,182
(進捗率)	100%	22.8%	46.7%	72.3%	100.0%
営業利益	1,612	259	390	429	534
経常利益	1,593	269	386	409	528
累計	1,593	269	656	1,065	1,593
(進捗率)	100%	16.9%	41.2%	66.9%	100.0%
四半期純利益	1,000	181	275	197	346
累計	1,000	181	457	654	1,000
(進捗率)	100%	18.1%	45.7%	65.4%	100.0%

<b>当期</b> 2022年3月期	年間 (業績予想)	当期1Q	当期2Q
売上高	23,200	5,587	5,471
(年間売上構成比)	100%	24.1%	23.6%
累計	23,200	5,587	11,058
(進捗率)	100%	24.1%	47.7%
営業利益	1,650	354	338
経常利益	1,630	333	371
累計	1,630	333	705
(進捗率)	100%	20.4%	43.3%
四半期純利益	1,100	211	253
累計	1,100	211	464
(進捗率)	100%	19.2%	42.2%

※2021年3月期第1四半期業績につきましては、四半期財務諸表を作成しておりませんので、参考数値となります。

## 4

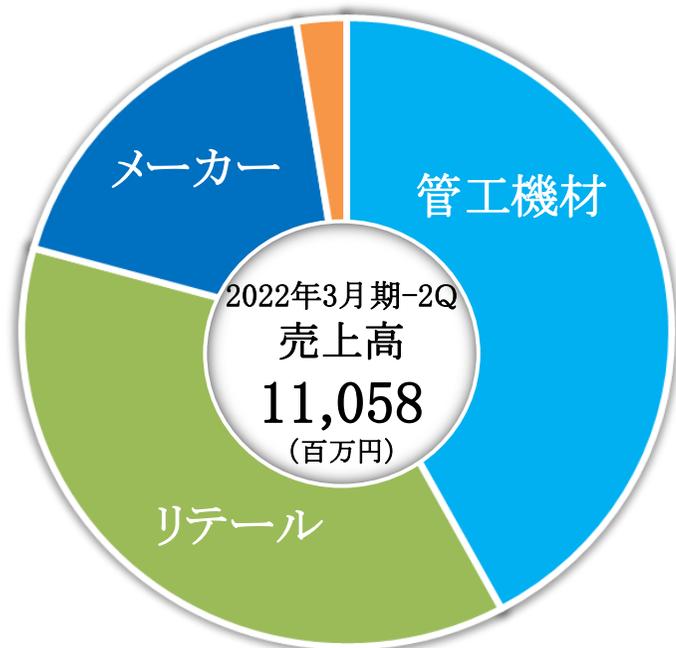
## 販売ルート別の動向

**管工機材**：新設住宅着工戸数の回復に加え、展示会等の販促活動も徐々に再開。非接触型水栓などの提案が引き続き好調。

**リテール**：巣ごもり消費は落ち着いてきたが、E C市場や高機能シャワーなどの新製品の販売が好調。

**メーカー**：新設住宅着工戸数の回復に伴い、住宅設備メーカーからの受注も増加。

2022年3月期 第2四半期  
累計の売上構成



参考：売上高構成比の推移	前々期	前期	当期	
	年間	年間	1Q	2Q
■ 管工機材 ルート	↓	↑	→	→
■ リテール ルート	→	↑	→	↓
■ メーカー ルート	↑	↓	↑	↑

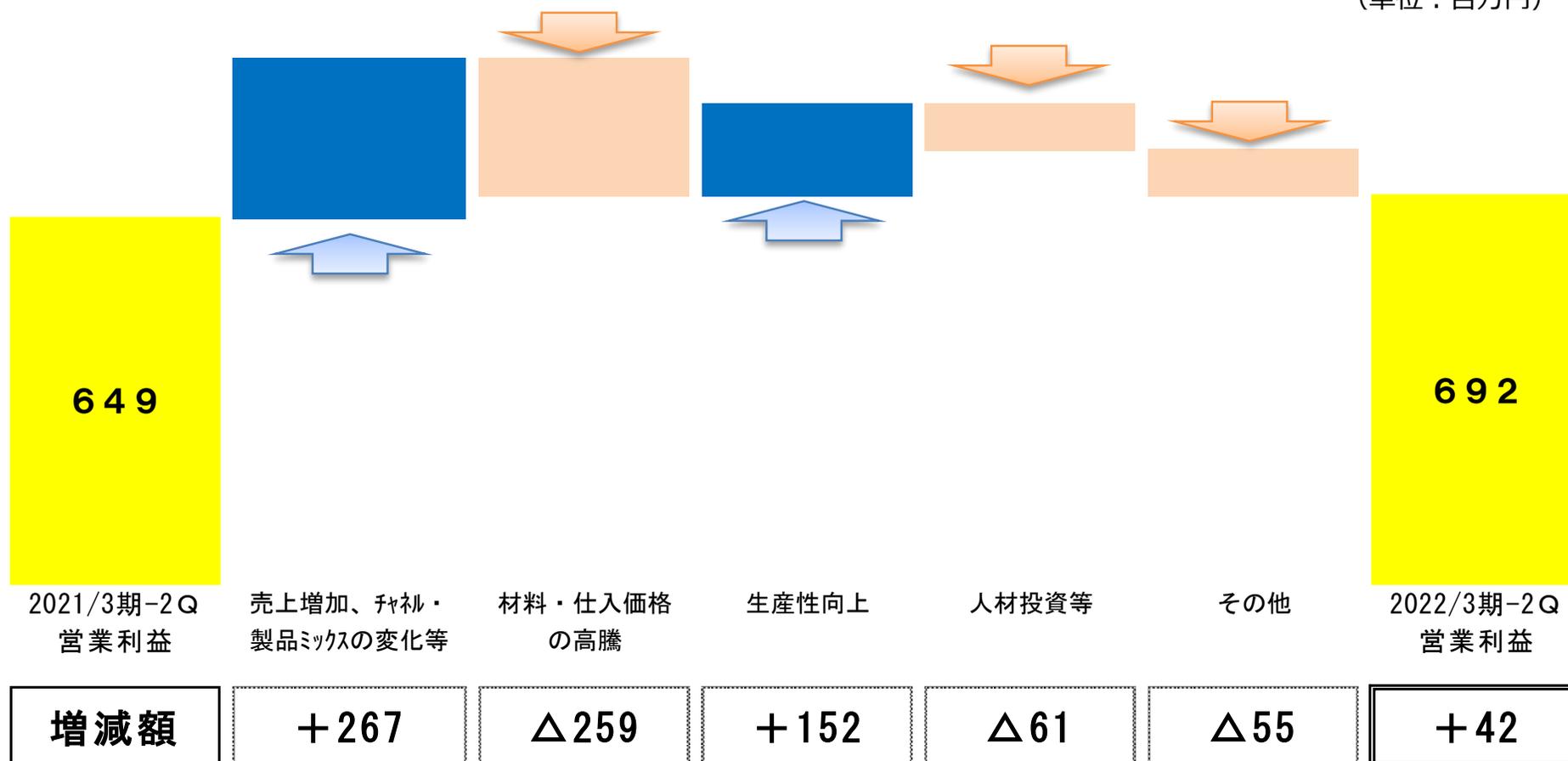
- ↑ 構成比が前期より上昇
- 構成比が前期とほぼ横バイ
- ↓ 構成比が前期より下降

## 5

## 営業利益の増減要因

## 営業利益の増減要因(前年差異+42百万円の内訳)

(単位：百万円)



# 損益の概要(まとめ)

(単位：百万円)

	2021年3月期		2022年3月期			
	2Q 累計	構成比	2Q 累計	構成比	増減	前年比
売上高	10,359	100.0%	11,058	100.0%	+699	+6.7%
売上総利益	3,355	32.3%	3,491	31.4%	+135	+4.0%
営業利益	649	6.3%	692	6.3%	+42	+6.6%
経常利益	656	6.3%	705	6.4%	+48	+7.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	457	4.4%	464	4.2%	+6	+1.5%

- ・非接触型水栓など高付加価値製品の拡販
- ・新設住宅着工戸数の回復による受注増加
- ・巣ごもり消費はやや鈍化傾向にあるが、高機能シャワーなどの新製品が好調

- ・チャネル・製品ミックスの変化
- ・素材価格(銅相場)高騰による材料費増加
- ・生産性向上の取り組み
- ・人材投資等による販売管理費の増加  
※販売管理費比率は前期26.1%⇒当期25.3%へ改善

営業外収益・費用

- ・持分法による投資利益  
※2021年7月に株式会社水生活製作所の株式を30%取得
- ・為替差損を計上

特別利益・損失

- ・前期は有価証券売却益を計上

## 7

## 連結BS(資産・負債・純資産)

棚卸資産は例年通り上期は増加傾向。投資その他の資産は関係会社株式の取得により増加。未払税金の納税や借入金の返済により負債は減少し、自己資本比率は上昇。

(単位：百万円)

	2021年 3月期	2022年3月期 第2四半期			
	金額	金額	増減	前年比	主な増減要因
資産	19,459	19,773	+314	+1.6%	流動資産の増加は主に棚卸資産の増加によるもの <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 売上債権 <math>\Delta 830</math></li> <li>■ 棚卸資産 +998</li> </ul> 固定資産の増加は株式会社水生活製作所の株式取得に伴う関係会社株式の増加によるもの
負債	8,959	8,844	$\Delta 114$	$\Delta 1.3\%$	流動負債は横ばい <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 仕入債務 +279</li> <li>■ 未払税金等 <math>\Delta 305</math></li> </ul> 固定負債の減少は主に長期借入金の減少によるもの <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 長期借入金 <math>\Delta 101</math></li> </ul>
純資産	10,500	10,929	+428	+4.1%	自己資本比率は55.3%に上昇 (2021年3月期から+1.3%) <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 配当の支払額 <math>\Delta 103</math></li> <li>■ 四半期純利益 +464</li> </ul>

## 連結キャッシュフロー

(単位：百万円)

	2021年 3月期	2022年 3月期		
	2Q累計	2Q累計	増減	当期の増減要因
期首残高	895	1,717	+822	(参考) 2020年12月株式上場による資金増+約6.7億円
営業C F	193	405	+212	原材料調達や納税に伴う支出を、借入によらず主に売上債権の回収により充当
投資C F	△238	△271	△33	前期は投資有価証券の売却による収入(約0.7億円)があったため、投資CFによる支出はやや増加
財務C F	76	△204	△281	当期は借入による資金調達を行わなかったため財務CFは減少
その他	△16	45	+61	
期末残高	910	1,692	+782	

「ALWAYS WITH JOY」

SANEI

SANEI 株式会社

<https://www.sanei.ltd/>

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。